

---

3月28日(月) 10:15～11:15 J会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 503

国際交流シンポジウム IS01-1  
ドイツ薬学会代表者講演  
Special Lecture by DPhG Representative

オーガナイザー：太田 茂

---

10:15～11:10

IS01-1 Raising the Gold Standard: Novel Bioisosteric Hinge-Binding Motifs for Tofacitinib-Derived JAK3 Inhibitors

ドイツ薬学会 / テュービンゲン大 Stefan LAUFER

11:10～11:15

質疑

---

3月29日(火) 13:15～14:15 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

国際交流シンポジウム IS01-2  
ドイツ薬学会代表者講演  
Special Lecture by DPhG Representative

オーガナイザー：大高 章

---

13:15～14:10

IS01-2 The  $\sigma_1$  receptor as target for the development of novel drugs

ドイツ薬学会 / ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大 Bernhard WÜNSCH

14:10～14:15

質疑

---

3月29日(火) 14:30～16:30 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

国際交流シンポジウム IS02  
FIP フォーラム 2016：科学と実務の融合に向けた日本の薬学の底力  
FIP Forum 2016: Potential of Japanese Pharmacy toward the Integration of Science and Practice

オーガナイザー：熊本 卓哉

---

14:30～14:35

オーガナイザー挨拶

武蔵野大薬 熊本 卓哉

14:35～15:00

IS02-1 抗凝固薬ワルファリンのPK/PDの人種差と投与アルゴリズムの評価

明治大薬 高橋 晴美

15:00～15:25

IS02-2 分子標的抗がん剤の血中濃度測定方法の開発と臨床応用

秋田大病院薬 三浦 昌朋

15:25～15:50

IS02-3 業務と研究の融合の方向性：薬剤師の果たす役割

東大病院薬 鈴木 洋史

15:50～15:55

休憩

15:55～16:25

IS02-4 Pharmaceutical Sciences in the Future: A Global Perspective

FIP Giovanni M. PAULETTI

16:25～16:30

総括

武蔵野大薬 熊本 卓哉

---

3月27日(日) 9:00～11:30 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S01

日本学術会議薬学委員会医療系薬学分会企画

薬学研究のこれから ―基礎と臨床の架け橋―

Pharmaceutical Sciences in the Future: The Linking Bridge between Basic and Clinical Research

オーガナイザー：橋田 充, 望月 眞弓

---

9:00～9:05

趣旨説明

日本学術会議第二部会員, 神戸大病院薬 平井 みどり

9:05～9:30

S01-1

基調講演

日本学術会議連携会員, 理化学研 杉山 雄一

9:30～9:45

S01-2

レギュラトリーサイエンスの視点から

日本学術会議会員(第二部部長), 医薬品医療機器総合機構 長野 哲雄

9:45～10:00

S01-3

医療現場の視点から：リバーストランスレショナルリサーチとしての薬剤疫学

浜松医大病院薬 川上 純一

10:00～10:15

S01-4

標的絶対定量的プロテオミクスに基づく Pharmacoproteomics：国際共同研究の重要性

日本学術会議連携会員, 東北大院薬 寺崎 哲也

10:15～10:30

S01-5

In silico 研究の視点から

京大院医 奥野 恭史

10:30～10:45

S01-6

薬物代謝研究の視点から

金沢大院医薬保 中島 美紀

10:45～11:25

総合討論

11:25～11:30

総括

日本学術会議連携会員, 京大院薬 高倉 喜信

---

3月27日(日) 9:00～11:00 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S02

医薬品による有害事象0(ゼロ)への挑戦 ～日本医薬品安全性学会設立を起点として～

Challenge to Turn Adverse Drug Event into a Zero ～ Starting from the Establishment of Japanese Society of Drug Safety ～

オーガナイザー：宇野 勝次, 前田 頼伸

---

9:00～9:10

オーガナイザー挨拶

福山大薬 宇野 勝次

9:10～9:30

S02-1

日本医薬品安全性学会が提唱する「被疑薬剤と有害事象の関連度評価基準」と「副作用重篤度(グレード)判定基準」

新潟薬大薬 齊藤 幹央

9:30～9:50

S02-2

アレルギー性副作用の発症機序、誘発要因および回避対策の検討の有用性

福山大薬 宇野 勝次

9:50～10:10

S02-3

中毒性副作用の発症機序、誘発要因および回避対策の検討の有用性～特に慢性腎臓病に着目して～

熊本大院薬 平田 純生

10:10 ~ 10:30	S02-4	病院薬剤師による医薬品の安全性への取り組み	東住吉森本病院薬 野村 剛久
10:30 ~ 10:50	S02-5	薬局薬剤師による医薬品の安全性への取り組み	あおぞら薬局 神浦 茉奈実
10:50 ~ 11:00		総括	中国労災病院薬 前田 頼伸

3月27日(日) 9:00 ~ 11:00 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S03

徹底討論！多職種連携教育（IPE）は薬学教育に何をもたらすのか

Thorough Discussion! What does IPE Bring to Pharmaceutical Education?

オーガナイザー：杉林 堅次, 石井 伊都子

9:00 ~ 9:05		オーガナイザー挨拶	城西大薬 杉林 堅次
9:05 ~ 9:20	S03-1	イントロダクション：多職種連携教育（IPE）と薬学教育一彩の国連携力育成プロジェクト	城西大薬 細谷 治
9:20 ~ 9:35	S03-2	昭和大学の体系的、段階的なチーム医療教育カリキュラム	昭和大薬 木内 祐二
9:35 ~ 9:50	S03-3	かかりつけ薬局で働く薬剤師向けの新しい IPE プログラムの開発	筑波大地域医療教育学 前野 哲博
9:50 ~ 10:05	S03-4	医療職種教育に及ぼす IPE の影響と薬剤師に期待すること—看護師の視点から—	千葉大院看 / 専門職連携教育研セ 酒井 郁子
10:05 ~ 10:20	S03-5	世界の多職種連携教育（IPE）と関連する国際的な活動	UCL 薬 FIP 協働セ 荒川 直子
10:20 ~ 10:55		総合討論（シンポジスト、オーガナイザーに加え、金沢区三師会 小田兵馬氏が討論に参加）	
10:55 ~ 11:00		総括	千葉大病院薬 / 千葉大院薬 石井 伊都子

3月27日(日) 9:00 ~ 11:00 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S04

日本薬局方試験法の改正と最新動向

The Latest Movement for the 17th Revision of the Japanese Pharmacopeia and International Harmonization

オーガナイザー：金澤 秀子, 四方田 千佳子

9:00 ~ 9:05		オーガナイザー挨拶	慶應大薬 金澤 秀子
9:05 ~ 9:35	S04-1	第17改正日本薬局方における理化学試験法と製剤試験法の概要	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 四方田 千佳子

9:35 ~ 9:55	S04-2	日本薬局方における液体クロマトグラフィーの動向	島津製作所 早川 禎宏
9:55 ~ 10:15	S04-3	日本薬局方における製薬用水の導電率測定	堀場製作所 小松 佑一朗
10:15 ~ 10:35	S04-4	溶出試験装置とメカニカルキャリブレーション	日本分光 鈴木 仁子
10:35 ~ 10:55	S04-5	核磁気共鳴スペクトル測定法の改正と技術革新	国立医薬品食品衛生研究所 杉本 直樹
10:55 ~ 11:00		総括	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 四方田 千佳子

3月27日(日) 9:00 ~ 11:00 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S05  
 物理系薬学学会シンポジウム  
 Symposium of Division of Physical and Pharmaceutical Sciences

オーガナイザー：本間 浩, 嶋田 一夫

9:00 ~ 9:20	S05-1	難治性脳疾患の非侵襲的病態解析を目的とした分子プローブの開発	長崎大院医歯薬 淵上 剛志
9:20 ~ 9:40	S05-2	刺激応答性ナノ粒子を用いた生理活性物質の機能制御法の開発と医療応用への展開	放医研 村山 周平
9:40 ~ 10:00	S05-3	アルツハイマー病の早期診断および治療薬開発のための分子イメージングプローブの開発	京大ウイルス研 渡邊 裕之
10:00 ~ 10:05		授賞式および部会長挨拶	武庫川女大薬 萩中 淳
10:05 ~ 10:30	S05-4	Gating modifier toxin による電位依存性カリウムイオンチャネル阻害の構造基盤	東大院薬 / 慶應大薬 大澤 匡範
10:30 ~ 10:55	S05-5	ナノマテリアルの分離分析法の開発	東大院薬 加藤 大
10:55 ~ 11:00		副部会長挨拶	東大院薬 嶋田 一夫

---

3月27日(日) 9:00～11:00 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S06

がん分子標的治療の発展に貢献する薬学基礎研究～より有効な分子標的治療戦略のために～  
Pharmaceutical Sciences Advancing Molecular Cancer Therapeutics  
～ To Improve Rationale and Effectiveness of Molecularly Targeted Drugs ～

オーガナイザー：野口 耕司, 馬島 哲夫

---

9:00～9:13

S06-1 がん治療標的としてのがん幹細胞と標的薬剤の探索

がん研・化療セ 馬島 哲夫

9:13～9:26

S06-2 Wnt/ $\beta$ -catenin 経路に対するケミカルサプレッサーの探索

岩手医大薬 西谷 直之

9:26～9:46

S06-3 細胞接着分子インテグリンを標的とした新しい抗腫瘍薬の展望

東京理大院薬 深井 文雄

9:46～10:06

S06-4 チロシンキナーゼ型受容体の非定型的活性化：がん病態制御の次なる標的

富山大院薬 櫻井 宏明

10:06～10:26

S06-5 抗がん剤耐性克服を目指した分子標的の探索と治療法の開発

近畿大薬 西田 升三

10:26～10:46

S06-6 耐性がん克服にむけての治療創出研究—肺癌から学ぶ

九大院薬 小野 眞弓

10:46～11:00

S06-7 新規がん分子標的治療薬に対する耐性メカニズムの解明

慶應大薬 野口 耕司

---

3月27日(日) 9:00～11:30 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S07

ビタミンのケミカルバイオロジー研究  
Chemical Biology Research of Vitamin

オーガナイザー：和田 昭盛, 須原 義智

---

9:00～9:05

オーガナイザーの挨拶

神戸薬大 和田 昭盛

9:05～9:25

S07-1 ビタミン K 誘導体による新規生理活性物質への応用

芝浦工大システム理工 須原 義智

9:25～9:50

S07-2 アスコルビン酸誘導体の創製と医薬品応用への可能性

県立広島大生命環境 田井 章博

9:50～10:15

S07-3 レチノイドの新たな医薬展開

東京医歯大 影近 弘之

10:15～10:40

S07-4 ビタミン D 誘導体合成：制がんおよび骨形成活性への効果

帝京大薬 橋高 敦史

10:40～11:05

S07-5 ビタミン E コハク酸の多彩な生理作用と薬学への展開

京都薬大 小暮 健太郎

11:05 ~ 11:25	S07-6	新規チャンネルロドプシンの開発	神戸薬大	和田 昭盛
11:25 ~ 11:30		総括	芝浦工大システム理工	須原 義智

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S08

MONOTORI の新戦略

A New Strategy of MONOTORI

オーガナイザー：供田 洋, 荒井 雅吉

13:15 ~ 13:20		趣旨説明	阪大院薬	荒井 雅吉
13:20 ~ 13:48	S08-1	多様性拡大抽出物を活用した天然化合物類縁体ライブラリーの創出	東北大院薬	菊地 晴久
13:48 ~ 14:16	S08-2	微生物代謝産物探索へのネットワーク技術の活用	北里大院薬	小山 信裕
14:16 ~ 14:44	S08-3	海洋生物由来の栄養飢餓選択的増殖阻害物質の探索と創薬への展開	阪大院薬	古徳 直之
14:44 ~ 15:12	S08-4	醗酵天然物からの新規医薬リードの創出	大鵬薬品天然物フロンティア研	永井 浩二
15:12 ~ 15:15		総括	北里大院薬	供田 洋

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S09

抗体-薬物複合体 要素技術と総合技術

Antibody-drug Conjugates: Element Technology and General Technology

オーガナイザー：真鍋 史乃

13:15 ~ 13:30	S09-1	オーガナイザー挨拶：均一 ADC 作製のためのリンカーストラテジー	理研	真鍋 史乃
13:30 ~ 13:50	S09-2	LC および MS 技術を用いた ADC の薬物抗体比および薬物結合位置の解析	日本ウォーターズ	飯塚 玲子
13:50 ~ 14:10	S09-3	がん間質ターゲティング療法	国立がん研究センター	松村 保広
14:10 ~ 14:30	S09-4	分子イメージングを駆使した ADC の開発	国立がん研究センター	安永 正浩
14:30 ~ 14:50	S09-5	細胞内侵入性抗体を用いた抗体 RNA 複合体 (ARCs) の開発と循環器疾患への応用	阪大医	松崎 高志

14:50 ~ 15:10	S09-6	トポソメラーゼ I 阻害剤を搭載した新規 ADC 技術開発	第一三共	我妻 利紀
15:10 ~ 15:15		総括	理研	真鍋 史乃

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

一般シンポジウム S10

広がる「夢の糖」希少糖の世界：産学官連携によるアカデミア発シーズを用いた実用化への道  
 The Dream Sugars “RARE SUGARS” Open New Avenues for Health and Food Sciences;  
 Time to Find Out the Ways of Practical Applications by Industry-Academia-Government Collaboration

オーガナイザー：伊藤 康一, 徳田 雅明

13:15 ~ 13:40	S10-1	夢の糖「希少糖」の魅力	香川大医	徳田 雅明
13:40 ~ 14:00	S10-2	D-プシコースの肝グルコキナーゼの核外移行促進による抗糖尿病作用	名城大薬	豊田 行康
14:00 ~ 14:20	S10-3	D-プシコースの脂肪蓄積抑制効果	長崎大 / 長崎県大看護栄養	永田 保夫
14:20 ~ 14:40	S10-4	肥満に対する希少糖 D-プシコースの効果	徳島文理大香薬	伊藤 康一
14:40 ~ 15:00	S10-5	希少糖を用いたメタボ対策への臨床的アプローチ	松谷化学工業研	飯田 哲郎

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S11

薬剤師の在宅医療推進のための症例検討プログラムの構築 —教育と臨床の融合—  
 Establishing a Case-Study Program for the Promotion of Home Medical Care of Pharmacists  
 —Fusing Education and Clinical Support—

オーガナイザー：吉武 毅人, 大澤 友二

13:15 ~ 13:20		オーガナイザー挨拶	第一薬大 / 九州中央病院健康管理センター ひまわり薬局 / 九大薬	吉武 毅人 大澤 友二
13:20 ~ 13:45	S11-1	「教育用在宅症例作成ワーキンググループ」設置の背景	第一薬大 / 九州中央病院健康管理センター	吉武 毅人
13:45 ~ 14:10	S11-2	薬学教育における在宅医療教育の現状とその課題 ～「教育用在宅症例作成ワーキンググループ」活動を通じて～	第一薬大	小武家 優子
14:10 ~ 14:35	S11-3	在宅医療における薬剤師の現状とその課題	菜の花薬局	古賀 砂登美

14:35 ~ 15:00	S11-4	在宅医療における症例検討の役割と教育的効果	ひまわり薬局 / 九大薬	大澤 友二
15:00 ~ 15:15		総括	第一薬大 / 九州中央病院健康管理センター ひまわり薬局 / 九大薬	吉武 毅人 大澤 友二

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S12

剤形の多様性は、患者アドヒアランス向上と医療経済に貢献できるか？

Is the Variety of Dosage Form Really Contributable to Improve Medication Adherence and Healthcare Expenditure?

オーガナイザー：内田 享弘, 並木 徳之

13:15 ~ 13:20		オーガナイザー挨拶	武庫川女大薬 静岡県大薬	内田 享弘 並木 徳之
13:20 ~ 13:40	S12-1	企業の立場からみた剤形の多様性と患者アドヒアランス向上	第一三共	鈴木 達也
13:40 ~ 13:55	S12-2	服薬アドヒアランス向上を目指した剤形開発の重要性	静岡県大薬	並木 徳之
13:55 ~ 14:05	S12-3	服薬アドヒアランスを決める因子の定量評価システムの構築	武庫川女大薬	内田 享弘
14:05 ~ 14:20	S12-4	統合失調症患者に対するアリピプラゾール持続性注射剤の臨床的有用性	大塚製薬	田鳥 祥宏
14:20 ~ 14:40	S12-5	医療現場で求められる剤形	昭和大 / 昭和大病院	佐々木 忠徳
14:40 ~ 14:55	S12-6	医療経済の視点から見た、患者アドヒアランス向上を通じた剤形の多様性の効果	慶應大	中村 洋
14:55 ~ 15:15		総合討論	静岡県大薬 武庫川女大薬	並木 徳之 内田 享弘

3月27日(日) 13:15 ~ 15:15 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S13

ジェネリック医薬品の更なる普及促進に向けて—国民（ユーザー）にとって必要な課題と方策—

Strategies for the Emphasized Promotion of Useful Generic Drugs in the Japanese Nations (Users)

オーガナイザー：渡辺 善照, 有山 良一

13:15 ~ 13:20		オーガナイザー挨拶・趣旨説明	ジェネリック医薬品協議会	渡辺 善照
13:20 ~ 13:40	S13-1	ジェネリック医薬品：日本特異なコンセプトから国際標準へ向けて	日本薬剤学会	永井 恒司

13:40 ~ 14:00	S13-2	上田薬剤師会が実施した後発医薬品に関する実態調査から示唆された課題と対策	上田薬剤師会 / 日本医療薬学会	飯島 康典
14:00 ~ 14:20	S13-3	当院におけるジェネリック・バイオシミラーの導入状況とその考え方	横浜市大病院薬	小池 博文
14:20 ~ 14:40	S13-4	ジェネリック医薬品普及における未病リテラシの重要性	日本未病システム学会	福生 吉裕
14:40 ~ 15:00	S13-5	薬剤師の国民（ユーザー）に対する薬の説明責任	セルフメディケーション推進協議会	村田 正弘
15:00 ~ 15:15		総合討論		

3月27日（日） 13:15 ~ 15:15      K会場   パシフィコ横浜   会議センター   3F   313+314

一般シンポジウム S14

物理療法を薬学研究に活かす！

Physical Medicine in Pharmaceutical Sciences

オーガナイザー：甲斐 広文, 西田 基宏

13:15 ~ 13:20		オーガナイザー挨拶		
			熊本大院薬	甲斐 広文
13:20 ~ 13:45	S14-1	最適化された微弱パルス電流と温熱の臨床応用		
			熊本大院薬	甲斐 広文
13:45 ~ 14:15	S14-2	メカノメディスン		
			岡山大院医歯薬	成瀬 恵治
14:15 ~ 14:45	S14-3	温度感受性 TRP チャネルを標的とした温度療法の可能性		
			岡崎生理研統合バイオ	富永 真琴
14:45 ~ 15:10	S14-4	運動療法を模倣する循環器疾患治療薬の開発		
			岡崎生理研統合バイオ	西田 基宏
15:10 ~ 15:15		総括		
			岡崎生理研統合バイオ	西田 基宏

3月27日（日） 15:30 ~ 18:00      B会場   パシフィコ横浜   会議センター   3F   301

一般シンポジウム S15

今、何を教えるべきか。 —基礎がつながる薬剤師を育てるために—

What should We Teach? —Toward an Educational Cooperation with Basic Science and Clinical Pharmacy—

オーガナイザー：宮田 興子, 石井 伊都子, 高橋 秀依

15:30 ~ 15:35		オーガナイザー挨拶		
			帝京大薬	高橋 秀依
15:35 ~ 15:40	S15-1	薬剤師養成教育における基礎系科目のあり方		
			広島大院医歯薬保	太田 茂

15:40 ~ 16:00	S15-2	薬学基礎・専門科目と実務実習の関連 ―学生アンケートから―	千葉大病院薬 / 千葉大院薬	石井 伊都子
16:00 ~ 16:25	S15-3	有機化学と臨床薬学間の有用な教育連携を目指して	京大院薬 神戸薬大	高須 清誠 宮田 興子
16:25 ~ 16:45	S15-4	物理化学領域と薬学実務領域との連動に迫る	大阪大谷大薬	池田 賢二
16:45 ~ 17:05	S15-5	臨床有機化学って??	ヤナセ薬局 アトリア薬局	浅井 考介 柴田 奈央
17:05 ~ 17:25	S15-6	臨床薬剤師の実践能力を支える薬学基礎知識	名大病院薬	石川 和宏
17:25 ~ 17:45	S15-7	医師からみた新しい薬剤師の価値 ―それは薬学から生まれる―	ファルメディコ	狭間 研至
17:45 ~ 18:00		総合討論	帝京大薬	高橋 秀依

3月27日(日) 15:30 ~ 17:30 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S16

有機合成化学の若い力：有機分子との格闘と対話

Young Challengers in Synthetic Organic Chemistry: Struggles and Conversations with Organic Molecules!

オーガナイザー：廣瀬 友靖, 大多和 正樹, 植田 浩史

15:30 ~ 15:32		オーガナイザー挨拶	北里大生命研	廣瀬 友靖
15:32 ~ 15:55	S16-1	選択的反応のためのペプチド触媒の開発	東大生研	赤川 賢吾
15:55 ~ 16:18	S16-2	ヒドリド転位が拓く炭素-水素結合変換型環化反応の開発	東農工大院工	森 啓二
16:18 ~ 16:41	S16-3	ケミカルバイオロジーによるビタミンD誘導体の新機能研究	北大院薬	渡邊 瑞貴
16:41 ~ 17:04	S16-4	新規家庭用殺虫剤の探索研究	住友化学健康農業関連研	大下 純
17:04 ~ 17:27	S16-5	天然物の全合成研究と環状化合物合成法の開発	東邦大薬	高橋 圭介
17:27 ~ 17:30		総括	東北大院薬	植田 浩史

---

3月27日(日) 15:30～17:30 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S17

創薬研究における天然物化学のミッションと新潮流

Mission and Future of Natural Products Chemistry in Pharmaceutical Sciences

オーガナイザー：塚本 佐知子, 阿部 郁朗

---

15:30～15:50

S17-1 糸状菌休眠型生合成経路を活用する新たな天然物ケミカルスペースの開拓

東北大院薬 浅井 禎吾

15:50～16:10

S17-2 翻訳後修飾によるトリプトファンのイソプレニル化

東大院薬 岡田 正弘

16:10～16:35

S17-3 p53 を安定化させる脱ユビキチン化酵素 USP7 阻害物質の探索

熊本大院薬 塚本 佐知子

16:35～17:00

S17-4 薬剤耐性克服作用を示す微生物代謝産物の探索

北里大院感染制御 / 北里大生命研 塩見 和朗

17:00～17:30

S17-5 抗肥満薬リードを求めて

神奈川大理 / 天然医薬リード探索研究所 上村 大輔

---

3月27日(日) 15:30～17:30 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S18

抗体医薬品を極める —新規抗体創薬と品質安全性評価のための基盤技術—

Insight in the Evolution of Therapeutic Monoclonal Antibodies

—Fundamental Technologies for Creation and Evaluation of Next Generation mAbs—

オーガナイザー：石井 明子, 津本 浩平

---

15:30～15:33

S18-1 オーガナイザー挨拶

国立衛研 石井 明子

15:33～15:53

S18-2 抗体医薬の創薬から承認まで

医薬品医療機器総合機構 坂中 千恵

15:53～16:13

S18-3 がん特異的抗体の開発と応用

東北大院医 加藤 幸成

16:13～16:33

S18-4 網羅的配列解析による多様な候補抗体の迅速同定手法の開発

鹿児島大院理工 伊東 祐二

16:33～16:53

S18-5 バイスペシフィック抗体技術を用いた次世代抗体医薬

中外製薬 井川 智之

16:53～17:13

S18-6 Fcγ 受容体発現レポーター細胞を用いた抗体医薬品の品質評価

国立衛研 多田 稔

17:13～17:30

S18-7 抗体物性評価の現状, 総括

東大院工 津本 浩平

---

3月27日(日) 15:30～17:30 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

一般シンポジウム S19

臨床系教員の大学における薬学教育、臨床研究の両立と臨床能力の維持・向上を目指して！！

Reconciling Pharmaceutical Education with Clinical Research, while Maintaining and Enhancing Clinical Ability within the Universities of Clinical Professors

オーガナイザー：寺町ひとみ, 重山昌人

---

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

岐阜薬大 寺町ひとみ

15:35～16:00

S19-1

岐阜薬科大学における臨床系教員の臨床能力維持と臨床研究

岐阜薬大 館知也

16:00～16:25

S19-2

臨床能力の向上を目指した薬学教育・臨床研究への取り組み

金沢大院医薬保 石崎純子

16:25～16:50

S19-3

臨床施設での研修及び臨床研究の重要性

大阪大谷大薬 名徳倫明

16:50～17:15

S19-4

製剤学的研究を通じ臨床現場に貢献できる薬剤師の養成を目指して

横浜薬大薬 重山昌人

17:15～17:30

討論および総括

岐阜薬大 寺町ひとみ

横浜薬大薬 重山昌人

---

3月27日(日) 15:30～17:30 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S20

救急集中治療を変える！！薬学から重症患者の治療向上に寄与するエビデンスを創り、発信する。

Transforming Emergency Intensive Care through Pharmacology by Creating and Disseminating Evidence that Contributes to Improving Treatment for Severe Cases

オーガナイザー：石澤啓介, 入江利行

---

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

小倉記念病院薬 入江利行

15:35～15:57

S20-1

救急集中治療の薬物治療を考える。侵襲が薬物治療に及ぼす影響について

日本大板橋病院薬 今井徹

15:57～16:19

S20-2

重症患者の感染症治療に対する薬剤師の介入効果

済生会横浜市東部病院薬 今浦将治

16:19～16:41

S20-3

敗血症に合併した播種性血管内凝固症候群に対する薬物治療

愛知医大病院薬 加藤隆寛

16:41～17:03

S20-4

心肺停止患者における社会復帰率の向上を志向したドラッグリポジショニング研究

徳島大院医歯薬 座間味義人

17:03～17:25

S20-5

救急集中治療における研究に対する薬剤師への期待

川崎医大救急医学 椎野泰和

17:25～17:30

総括

徳島大院医歯薬 石澤啓介

---

---

3月27日(日) 15:30～17:30 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S21

戦略的 in silico 手法の活用で医薬研究開発の手詰まり状態を打破する  
Strategic In Silico Approach to Overcome Drug Development Stalemate

オーガナイザー：平山 令明

---

15:30～15:35	オーガナイザー挨拶		
		東海大糖鎖科学研究所	平山 令明
15:35～16:00			
S21-1	創薬におけるインシリコ技術：中外製薬における応用例	中外製薬	大田 雅照
16:00～16:25			
S21-2	タンパク質構造情報に基づくインシリコ DR	産総研	広川 貴次
16:25～16:50			
S21-3	医薬分子の in silico 毒性予測	東海大糖鎖科学研究所	平山 令明
16:50～17:15			
S21-4	現代の新薬発見におけるナレッジ・マネジメントの課題	Prous Institute	Josep Prous
17:15～17:30			
	総括	東海大糖鎖科学研究所	平山 令明

---

3月27日(日) 15:30～17:30 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S22

薬学における生命指向型化学（「薬」創りの新発想）  
Chemical Biology for Pharmaceutical Sciences (Novel Ideas for “Drug” Discovery)

オーガナイザー：相馬 洋平, 伊藤 幸裕

---

15:30～15:40	オーガナイザー挨拶		
		東大院薬/JST-ERATO	相馬 洋平
15:40～16:00			
S22-1	有機化学の力を借りた「薬」創り	京府医大院医	伊藤 幸裕
16:00～16:20			
S22-2	化学プローブを精密にデザインして癌を光らせる！	東大院医/JST さきがけ	神谷 真子
16:20～16:40			
S22-3	損傷類似人工核酸による核酸修復酵素阻害剤の開発	九大院薬	谷口 陽祐
16:40～17:00			
S22-4	製薬業界における新しい創薬化学	武田薬品工業	今枝 泰宏
17:00～17:20			
S22-5	糖鎖の「弱」親和性を効果的に活用するインビボイメージングと医療展開	理研/ロシアカザン大化学/JST さきがけ	田中 克典
17:20～17:30			
	総括	東大院薬/JST-ERATO	相馬 洋平

---

3月27日(日) 15:45～17:45 J会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 503

一般シンポジウム S23

日本の医薬品産業を継続的な成長産業とするために：日本発の医薬品の継続的創出  
The Strategy for Revitalizing the Development of Drugs in Japan

オーガナイザー：鈴木 岳之, 中村 洋

---

15:45～16:15

S23-1 AMEDによる難病・未診断疾患の診断と治療戦略への支援

日本医療研究開発機構 末松 誠

16:15～16:45

S23-2 日本の医薬品産業の現状と今後の展望

日経バイオテク 橋本 宗明

16:45～17:15

S23-3 内資系製薬企業が新薬創出で勝ち残るためのビジネスモデル

慶應大院経営管理 中村 洋

17:15～17:45

S23-4 新薬創出力に影響する日本の医薬品市場の特性

慶應大薬 鈴木 岳之

---

3月27日(日) 15:30～17:30 K会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314

一般シンポジウム S24

ヘム関連分子の医薬への新しいチャレンジ

Challenges in Medical and Pharmaceutical Application of Molecules Associated with Heme

オーガナイザー：小谷 明, 樋口 恒彦

---

15:30～15:35

趣意説明

金沢大院医薬保 小谷 明

15:35～15:50

S24-1 CYP薬物代謝の分子メカニズム

阪大院薬 宇野 公之

15:50～16:15

S24-2 前立腺癌治療薬 TAK-700 (Orteronel) の合成研究 ―高選択的 CYP 阻害薬への挑戦―

武田薬品 松永 伸之

16:15～16:30

S24-3 放射性 Cu 標識ヘマトポルフィリン誘導体によるがん診断薬剤の開発

鈴鹿医療大薬 飯田 靖彦

16:30～16:45

S24-4 糖鎖連結光感受性物質による次世代 Photodynamic therapy (PDT) の開発

名市大院医 片岡 洋望

16:45～17:00

S24-5 5-アミノレブリン酸を用いた超音波療法の乳癌細胞に対する抗腫瘍活性と作用機序の解明

徳島大院工 宇都 義浩

17:00～17:25

S24-6 生命根源物質 5-アミノレブリン酸

SBI ファーマ 田中 徹

17:25～17:30

総括

名市大院薬 樋口 恒彦

---

---

3月28日(月) 9:45～11:45 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S25

ニューロジンクとその結合・輸送タンパク質から見た脳科学の新展開

New Insight into Brain Science from Neurozinc and Its Binding Proteins and Transporters

オーガナイザー：武田 厚司

---

9:45～9:50

オーガナイザー挨拶

静岡県大薬 武田 厚司

9:50～10:15

S25-1

亜鉛トランスポーターの分子機能解析と神経機能

京大院生命 神戸 大朋

10:15～10:40

S25-2

脳内亜鉛によるミクログリアの機能制御

高知大院医 東洋 一郎

10:40～11:10

S25-3

網膜変性疾患におけるメタロチオネイン-1、2、3の関与

岐阜薬大 原 英彰

11:10～11:35

S25-4

アミロイドβ-亜鉛形成から見た軽度認知機能障害

静岡県大薬 武田 厚司

11:35～11:45

総括

静岡県大薬 武田 厚司

---

3月28日(月) 9:00～11:00 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S26

乳癌幹細胞の制御機構と治療への展開

Regulation of Breast Cancer Stem Cells and Implications for Cancer Therapy

オーガナイザー：諫田 泰成, 秋本 和憲

---

9:00～9:06

オーガナイザー挨拶

国立衛研 諫田 泰成

9:06～9:33

S26-1

リゾリン脂質による乳癌幹細胞の増殖制御と創薬応用

国立衛研 諫田 泰成

9:33～10:00

S26-2

乳癌幹細胞の解糖系代謝における atypical protein kinase C (aPKC) の役割

東京理大薬 秋本 和憲

10:00～10:27

S26-3

乳癌のホルモン療法耐性機序と乳癌幹細胞性

東北大院医 林 慎一

10:27～10:54

S26-4

癌幹細胞の幹細胞性維持シグナルと創薬標的

金沢大がん進展制御研 後藤 典子

10:54～11:00

統括

東京理大薬 秋本 和憲

---

---

3月28日(月) 9:00～11:00 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S27

イオンチャネルと痛み：最新の研究動向

Ion Channels and Pain: Current Research Trends

オーガナイザー：川畑 篤史, 田辺 光男, Gerald ZAMPONI

---

9:00～9:03

Opening remark (オーガナイザー挨拶)

Kindai Univ. (近畿大薬) Atsufumi KAWABATA (川畑 篤史)

9:03～9:28

S27-1

Molecular physiology of pain: from calcium channel ubiquitination to optogenetics

Univ. Calgary Gerald ZAMPONI

9:28～9:50

S27-2

T-type calcium channels and neuroapthic/visceral pain

(T型カルシウムチャネルと神経障害性疼痛・内臓痛)

Kindai Univ. (近畿大薬) Atsufumi KAWABATA (川畑 篤史)

9:50～10:12

S27-3

TRPM2 aggravates inflammatory and neuropathic pain by the activation of immune and glial cells

(TRPM2は免疫・グリア細胞の活性化を介して炎症性および神経障害性疼痛を増悪する)

Kyoto Univ. (京大院薬) Shuji KANEKO (金子 周司)

10:12～10:34

S27-4

Role of P2X4-positive spinal microglia in neuropathic pain

(神経障害性疼痛におけるP2X4受容体陽性ミクログリアの役割)

Kyushu Univ. (九州大院薬) Makoto TSUDA (津田 誠)

10:34～10:56

S27-5

Synaptic mechanisms of pain relief by increasing inhibitory transmission in the spinal dorsal horn

(脊髄後角抑制性神経伝達増強による鎮痛作用のシナプス機構)

Kitasato Univ. (北里大薬) Mitsuo TANABE (田辺 光男)

10:56～11:00

Closing remark (オーガナイザー挨拶)

Univ. Calgary Gerald ZAMPONI

---

3月28日(月) 9:00～11:00 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S28

新たな医薬品・医療機器開発へ向けた異分野融合研究の最前線

Frontier of Interdisciplinary Research for Development of Novel Medicine and Medical Device

オーガナイザー：安西 和紀, 兵藤 文紀

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

九大レドックスナビ拠点 兵藤 文紀

9:05～9:35

S28-1

医薬工連携による生体PET/SPECT分子イメージング研究

京大院薬 佐治 英郎

9:35～10:05

S28-2

大学研究機関での医工連携による次世代医療機器開発体制に求められるもの

東大院工 佐久間 一郎

10:05～10:30

S28-3

がん化学療法の根本的問題へのアプローチ

九大院工 / 九大レドックスナビ拠点 片山 佳樹

10:30～10:55

S28-4

ナビ拠点におけるレドックスを視る機器開発

九大レドックスナビ拠点 内海 英雄

10:55～11:00

総括

日本薬大 安西 和紀

---

3月28日(月) 9:00～11:00 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S29

疾患・病態に関わる多彩な酸化ストレスワールド～分子標的型制御を目指した新展開～  
Single Molecule-Targeting Regulation of Oxidative Stress in Pathological Conditions

オーガナイザー：石原 康宏, 津川 仁

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

広島大院総科 石原 康宏

9:05～9:27

S29-1

活性化したミクログリアで発現が上昇する SOD2 の病態生理的意義の解明

広島大院総科 石原 康宏

9:27～9:49

S29-2

血漿セレン含有タンパク質セレノプロテイン P を標的としたテラーメイド型糖尿病治療  
—診断薬および治療薬の開発

同志社大生命医科 斎藤 芳郎

9:49～10:11

S29-3

ピロリ菌感染戦略における酸化ストレスの意義と制御

慶應大医 津川 仁

10:11～10:33

S29-4

ストレスによって変動する脂質酸化物とその生理的意義

産総研健康工学 七里 元督

10:33～10:55

S29-5

酸化ストレスと還元ストレス

九大院薬 山田 健一

10:55～11:00

総括

慶應大医 津川 仁

---

3月28日(月) 9:00～11:00 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S30

時間毒性学的観点から考える労働安全衛生～健康管理における新たな視点～  
Chronotoxicology in the Occupational Safety and Health

オーガナイザー：榛葉 繁紀, 三浦 伸彦

---

9:00～9:25

S30-1

交替制勤務による健康影響—その疫学的エビデンス

産業医大 久保 達彦

9:25～9:50

S30-2

時間毒性学と労働衛生

労働安全衛生総合研究所 三浦 伸彦

9:50～10:15

S30-3

時間栄養学による健康科学

早大高等研 田原 優

10:15～10:40

S30-4

体内時計の分子機構を基盤とする医薬品の適正使用

九大院薬 松永 直哉

10:40～11:00

S30-5

体内時計の機能低下に伴う代謝性肝疾患の発症とその機構

日本大薬 和田 平

---

3月28日(月) 9:00～11:00 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S31

免疫制御による疾病予防・治療の最前線

Recent Topics of Immunomodulation for Therapy and Prevention of Diseases

オーガナイザー：吉岡 靖雄, 國澤 純

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

阪大微研 吉岡 靖雄

9:05～9:22

S31-1

感染症に対する次世代型ワクチンの創成に向けて

阪大微研 吉岡 靖雄

9:22～9:44

S31-2

亜鉛シグナリング：生体恒常性と病気への関与

徳島文理大薬 深田 俊幸

9:44～10:06

S31-3

炎症性腸疾患の免疫制御に資する標的細胞の探索～ヒト腸管免疫から眺めた創薬～

阪大院医 西村 潤一

10:06～10:28

S31-4

自己免疫疾患に対する治療戦略

慶應大医 山岡 邦宏

10:28～10:50

S31-5

栄養を介した免疫制御と創薬・機能性食品開発への展開

医薬健栄研 國澤 純

10:50～11:00

総括

医薬健栄研 國澤 純

---

3月28日(月) 13:15～15:15 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S32

アレルギー研究の最前線

Frontiers in Researches of Allergy

オーガナイザー：西田 圭吾, 柏倉 淳一

---

13:15～13:35

S32-1

亜鉛シグナルによるマスト細胞活性化調節機構

鈴鹿医療大薬 西田 圭吾

13:35～14:00

S32-2

脂質メディエーターと免疫調節

東京都医学総合研 武富 芳隆

14:00～14:25

S32-3

疾患特異的マスト細胞活性化機序の解明をその制御

東大医科研 倉島 洋介

14:25～14:50

S32-4

アレルギー炎症反応におけるヒスタミン遊離因子の役割

理研 IMS 柏倉 淳一

14:50～15:15

S32-5

マスト細胞キマーゼを標的とした創薬研究

アスピオファーマ 富森 嘉晃

---

3月28日(月) 13:15～15:15 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S33

患者本位の医薬品の利用

Explore the Utilization of Patient-Oriented Pharmaceutical Healthcare

オーガナイザー：遠藤 浩良, 宮内 洋一

---

13:15～13:45

S33-1 未承認薬のコンパッションネート使用

東大院薬 寺岡 章雄

13:45～14:15

S33-2 自家がんワクチン療法の現況

セルメディシン 大野 忠夫

14:15～14:45

S33-3 医薬品の有害事象と薬害のあいだ

薬害オンブズパースン会議 水口 真寿美

14:45～15:15

S33-4 地域薬剤師および薬局の活動報告

薬剤師と地域薬局活動ネットワーク 清水 真知

---

3月28日(月) 13:15～15:15 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S34

多様な細胞死経路とその意義の解明

Analysis of Physiological and Pathological Role and the Mechanism of Several Programmed Non-Apoptotic Cell Death

オーガナイザー：今井 浩孝, 袖岡 幹子

---

13:15～13:17

はじめに

北里大薬 今井 浩孝

13:17～13:40

S34-1 酸化ストレスにより誘導されるネクローシスへの化学的アプローチ

理研 袖岡 幹子

13:40～14:03

S34-2 アダプター蛋白 ASC を介したアポトーシスとパイロトーシスの制御

金大がん研 須田 貴司

14:03～14:26

S34-3 オートファジーと細胞死による生体制御

東京医歯大難治研 清水 重臣

14:26～14:49

S34-4 cFLIP による細胞死制御のメカニズム

東邦大医 中野 裕康

14:49～15:12

S34-5 GPx4 欠損によるフェロトーシス様新規細胞死の分子メカニズム

北里大薬 今井 浩孝

15:12～15:15

総括

理研 袖岡 幹子

3月28日(月) 13:15～15:15 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

一般シンポジウム S35

薬剤性肝障害評価系構築への新機軸

New Direction to Establish Drug-Induced Liver Injury Evaluation System

オーガナイザー：石田 誠一, 竹澤 俊明, 堀江 透

13:15～13:35

S35-1 臨床での薬剤性肝障害を予測する創薬スクリーニング系は構築できるか？

ディ・スリー研究所 堀江 透

13:35～14:00

S35-2 薬剤性肝障害の現況—臨床家の立場から—

東海大消化器内科 加川 建弘

14:00～14:20

S35-3 ヒト肝における薬物代謝物の排泄を外挿する新しい培養システム

農業生物資源研究所 竹澤 俊明

14:20～14:45

S35-4 毛細胆管伸長阻害に着目した薬剤性肝障害増悪リスク評価系の構築

千葉大院薬 伊藤 晃成

14:45～15:10

S35-5 人工染色体技術による創薬研究への応用～薬物動態・毒性評価系モデルの構築～

鳥取大染色体工学研究センター 押村 光雄

15:10～15:15

総括

国立衛研 石田 誠一

3月28日(月) 13:15～15:15 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S36

味覚と健康：栄養素センサー研究の現状と未来

Taste and Health: Current Status of Nutrient Sensor Research

オーガナイザー：畝山 寿之, 竹内 孝治

13:15～13:17

オーガナイザー挨拶

味の素イノベ研 畝山 寿之

13:17～13:37

S36-1 味覚受容体の機能（塩味と甘味）

九大院歯 重村 憲徳

13:37～13:57

S36-2 味覚・感覚反応の生体イメージング

自治医大医 西村 智

13:57～14:17

S36-3 消化管スパイスセンサーとその機能：辛味は胃腸でも味わう

城西国際大薬 堀江 俊治

14:17～14:37

S36-4 消化管亜鉛シグナルによる食欲亢進作用のメカニズム

東北大院農 駒井 三千夫

14:37～14:57

S36-5 栄養素センシングと神経ペプチドを介した摂食抑制

産業医大医 上田 陽一

14:57～15:12

S36-6 グルタミンおよびグルタミン酸の薬剤起因性消化管傷害に対する保護効果

京都薬大 天ヶ瀬 紀久子

15:12～15:15

総括

京都薬大 竹内 孝治

---

3月28日(月) 13:15～15:15 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S37  
メタボライトとエピゲノム  
Metabolites and Epigenome

オーガナイザー：日野 信次朗, 梅原 崇史

---

13:15～13:18	オーガナイザー挨拶	理研 梅原 崇史
13:18～13:42 S37-1	S-アデノシルメチオニン (SAM) の地産地消機構とその意義	東北大院医 五十嵐 和彦
13:42～14:06 S37-2	βヒドロキシ酪酸は内在性のHDAC阻害剤として酸化ストレス抑制に関わる	理研 島津 忠広
14:06～14:30 S37-3	IDHを標的としたがん治療	国立がん研究センター研究所 北林 一生
14:30～14:54 S37-4	試験管内人工生合成系を活用した擬天然物の創製	東大院理 後藤 佑樹
14:54～15:12 S37-5	FAD依存性ヒストン脱メチル化酵素によるエネルギー代謝制御機構	熊本大発生研 日野 信次朗
15:12～15:15	総括	熊本大発生研 日野 信次朗

---

3月28日(月) 13:15～15:15 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S38  
先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発  
Collaborative Development of Advanced Practical Education Program to Train Pharmacists with Leadership

オーガナイザー：平田 収正, 入江 徹美

---

13:15～13:20	オーガナイザー挨拶	阪大院薬 平田 収正
13:20～13:30	挨拶	文科省高等教育局医学教育課 前島 一実
13:30～13:55 S38-1	国立大学における実践的医療薬学教育プログラム及びチーム医療・地域医療プログラムの開発	広島大院医歯薬保 小澤 光一郎
13:55～14:20 S38-2	長期課題研究及びアドバンスト教育プログラムを中心とした取り組みとその成果	岡山大院医歯薬 波多野 力
14:20～14:45 S38-3	SP養成・PBLチュートリアル教育プログラム及び高度医療人養成・レギュラトリーサイエンスプログラム	京大院薬 山下 富義
14:45～15:10 S38-4	教育評価手法プログラム及びトランスレーショナルリサーチ・臨床試験プログラム	徳島大院医歯薬 滝口 祥令
15:10～15:15	総括	熊本大院薬 入江 徹美

---

3月28日(月) 15:30～17:30 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S39

食の安全性・機能性を支える科学の最前線

Trends in Food Sciences Supporting the Safety and Nutritional and Physiological Functions

オーガナイザー：上野 仁, 永山 敏廣

---

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

摂南大薬 上野 仁

15:35～15:55

S39-1

薬事監視の立場からみた食品の安全科学

厚労省近畿厚生局 平原 嘉親

15:55～16:15

S39-2

食の科学と日本人の食事摂取基準

医薬・健栄研 梅垣 敬三

16:15～16:35

S39-3

機能性食品の安全性・有用性評価法

静岡県大薬 山田 浩

16:35～16:45

休憩

16:45～17:05

S39-4

食物アレルギーの表示制度と分析法の科学

国立衛研 安達 玲子

17:05～17:25

S39-5

我が国におけるフードディフェンス（食品防御）の現状と課題

奈良県医大 今村 知明

17:25～17:30

総括

明治薬大 永山 敏廣

---

3月28日(月) 15:30～17:30 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S40

抗ウイルス感染症研究のフロンティア～ウイルス侵入過程の重要性～

Frontiers of Research on Antiviral Infectious Diseases: The Importance of Viral Entry Steps

オーガナイザー：玉村 啓和, 前仲 勝実

---

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

東京医歯大生材研 玉村 啓和

15:35～16:00

S40-1

HIV 外被タンパク質 gp41 由来ペプチド C34 の二量体を基盤とした膜融合阻害剤

東京医歯大生材研 玉村 啓和

16:00～16:30

S40-2

中和抗体増強強化能を有する新規 HIV 侵入阻害剤の開発

国立感染研エイズセ 吉村 和久

16:30～17:00

S40-3

中和抗体によるマールブルグ・エボラウイルスの侵入阻害機構

九大院医 橋口 隆生

17:00～17:25

S40-4

モルビリウイルス属の細胞侵入機構の構造基盤と阻害剤開発

北大院薬 前仲 勝実

17:25～17:30

総括

北大院薬 前仲 勝実

---

---

3月28日(月) 15:30～17:30 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S41

次世代の薬理学者が切り拓く QOL 改善を目指した革新的育薬研究

Innovative Research by Young Pharmacologists Aimed at Discovery of the New Drugs that Improve the Quality of Life for People with Diseases

オーガナイザー：中本 賀寿夫, 坂本 謙司

---

15:30～15:33	オーガナイザー挨拶	北里大薬 坂本 謙司
15:33～15:58 S41-1	鋳質コルチコイド受容体阻害による抗炎症作用を介したメタボリックシンドローム病態 および NASH に対する改善効果	富山大院薬 和田 努
15:58～16:23 S41-2	高尿酸血症・痛風と尿酸排出トランスポーター ABCG2/BCRP	東大病院薬 高田 龍平
16:23～16:43 S41-3	長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFAR1 を標的とした新規疼痛制御機構	神戸学院大薬 中本 賀寿夫
16:43～17:03 S41-4	網膜色素変性症モデルマウスを用いた新規視細胞保護薬の探索	北里大薬 坂本 謙司
17:03～17:28 S41-5	オプトジェネティクスを用いた脳病態研究の新展開	東北大院医 松井 広
17:28～17:30	総括	神戸学院大薬 中本 賀寿夫

---

3月28日(月) 15:30～17:30 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S42

「薬毒同源」のヒ素化合物—環境化学物質および医薬品としての二面性—

Arsenic Compounds as Environmental Chemicals and Pharmaceuticals

オーガナイザー：角 大悟, 小林 弥生

---

15:30～15:35 S42-1	本シンポジウムの趣旨説明	国立環境研 小林 弥生
15:35～16:00 S42-2	無機ヒ素の代謝に関与する遺伝子多型	熊本県大環境共生 阿草 哲郎
16:00～16:25 S42-3	発がんモデルを用いたヒ素発がん性の証明とその機序の解明	大阪市大院医 鱈淵 英機
16:25～16:30	休憩	
16:30～16:55 S42-4	亜ヒ酸の Promyelocytic leukemia (PML) への影響	国立環境研 宇田川 理
16:55～17:20 S42-5	亜ヒ酸製剤の適応拡大を目指す基礎的研究	徳島文理大薬 角 大悟
17:20～17:30	総括	徳島文理大薬 角 大悟

---

3月28日(月) 15:30～17:30 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S43

活性イオウシグナル伝達の新展開

New Insight of Reactive Sulfur Species Signaling

オーガナイザー：西田 基宏, 上原 孝

---

15:30～15:32	オーガナイザー挨拶	岡崎生理研統合バイオ	西田 基宏
15:32～15:55	S43-1 活性イオウ分子種の生体内生成と生理機能	東北大院医	赤池 孝章
15:55～16:18	S43-2 活性イオウ分子を検出する蛍光プローブの開発	東大院薬	花岡 健二郎
16:18～16:41	S43-3 活性イオウシグナル研究のための化学ツール開発	名市大院薬	中川 秀彦
16:41～17:04	S43-4 RNAのイオウ修飾を標的とした創薬	熊本大院医	富澤 一仁
17:04～17:27	S43-5 親電子シグナルを制御する活性イオウ分子	筑波大医学医療系	熊谷 嘉人
17:27～17:30	総括	岡山大院医歯薬	上原 孝

---

3月28日(月) 15:30～17:30 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S44

生体内エネルギー代謝制御を司る鍵分子研究の最先端

Research Frontier on the Key Molecules Regulating Energy Metabolism

オーガナイザー：恒枝 宏史, 細井 徹, 宮本 理人

---

15:30～15:35	シンポジウム趣旨説明	富山大院薬	恒枝 宏史
15:35～15:50	S44-1 視床下部オレキシンによる睡眠と糖代謝の連係調節の意義	富山大院薬	恒枝 宏史
15:50～16:10	S44-2 レプチン抵抗性による肥満形成機構の解明と創薬開発戦略	広島大院医歯薬保	細井 徹
16:10～16:30	S44-3 中枢神経系のSIRT1による体重調節	群馬大生調研	佐々木 努
16:30～16:45	S44-4 骨格筋収縮時のメタボローム変化におけるAMPK活性化の意義	徳島大院薬	宮本 理人
16:45～17:05	S44-5 骨格筋PGC-1 $\alpha$ による代謝調節	静岡県大食品栄養	三浦 進司
17:05～17:25	S44-6 PPAR $\gamma$ が関与する脂肪組織の機能調節 ―脂肪酸組成からのアプローチ―	山形大院医	佐藤 大介

17:25 ~ 17:30

総括

徳島大院薬 宮本 理人

3月28日(月) 15:30 ~ 17:30 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S45

東京オリンピック・パラリンピック 2020 に向けた薬局・薬剤師と外国人患者のコミュニケーション  
Effective Communication between Pharmacists and Foreign Patients at Community Pharmacy

オーガナイザー：吉山 友二, 笠師 久美子

15:30 ~ 15:40

S45-1 薬局・薬剤師と外国人患者のコミュニケーション

北里大院薬 吉山 友二

15:40 ~ 16:10

S45-2 東京 2020 に向けて薬剤師に求められること～長野 1998NOC アシスタントの経験から～

北大病院薬 笠師 久美子

16:10 ~ 16:30

S45-3 外国人患者への対応と英語版くすりのしおり

くすりの適正使用協議会 藤原 昭雄

16:30 ~ 16:50

S45-4 外国人向け薬局店頭対応マニュアル

石川県薬剤師会 山崎 敏啓

16:50 ~ 17:10

S45-5 オリンピックムーブメントとアンチ・ドーピング活動

日本アンチ・ドーピング機構 浅川 伸

17:10 ~ 17:30

総合討論

3月29日(火) 9:00 ~ 11:00 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S46

新創薬資源を発掘し理解する、マイクロプロテイン研究の新潮流  
Micro Proteins: An Emerging New Resource for Pharmaceutical Research

オーガナイザー：佐竹 炎, 相澤 康則

9:00 ~ 9:05

緒言：“真の網羅的”タンパク質研究へ

東工大バイオ 相澤 康則

9:05 ~ 9:27

S46-1 ホヤ神経ペプチド研究から見えた哺乳類の新たな卵巣成熟機構と創薬ターゲット

サントリー生有研 佐竹 炎

9:27 ~ 9:49

S46-2 マイトクリプタイド：ミトコンドリアタンパク質配列に隠された一群の免疫調節因子

長浜バイオ大院 向井 秀仁

9:49 ~ 10:11

S46-3 アダプティブアセンブリ：低親和性ペプチドを高親和性タンパク質に成長させる分子育種技術

産総研/東大院新領域 本田 真也

10:11 ~ 10:33

S46-4 ヒトトランスクリプトーム解析から読み取るマイクロプロテイン

東大アイソトープ/東大院薬 秋光 信佳

10:33 ~ 10:55

S46-5 遺伝子非翻訳領域のコード可能性

東工大バイオ 相澤 康則

10:55 ~ 11:00

総括

サントリー生有研 佐竹 炎

---

3月29日(火) 9:00～11:00 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S47

エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの創薬に向けた取り組み

～天然物医薬品の開発におけるブレイクスルーを目指して～

Our Approaches to the New Drug Application of Ephedrine Alkaloids Free Ephedra Herb Extract (EFE):

Toward Breakthrough in Natural Medicines in Japan

オーガナイザー：合田 幸広, 袴塚 高志, 小林 義典, 日向 須美子

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

国立衛研 合田 幸広

9:05～9:25

S47-1

医療用漢方製剤の承認申請について

国立衛研 袴塚 高志

9:25～9:40

S47-2

麻黄エキス含有ポリフェノールの解析

松山大薬 天倉 吉章

9:40～9:55

S47-3

エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の調製法、指標成分及び抗腫瘍作用

国際医福大薬 大嶋 直浩

9:55～10:00

休憩

10:00～10:15

S47-4

EFE の薬理作用と臨床応用へ向けた取り組み

北里大東医研 日向 須美子

10:15～10:30

S47-5

麻黄及びエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) の鎮痛作用と副作用

北里大薬 小林 義典

10:30～10:45

S47-6

エフェドリンアルカロイド除去マオウエキス (EFE) の臨床的有用性を検証する臨床研究

北里大東医研 小田口 浩

10:45～11:00

総括 & 質疑応答

国立衛研 合田 幸広

---

3月29日(火) 9:00～11:00 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S48

高齢者薬物療法における薬学的視点と未来への展望

Pharmaceutical Perspectives and Future Outlook for Geriatric Drug Therapy

オーガナイザー：大井 一弥, 平井 みどり

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

鈴鹿医療大薬 大井 一弥

9:05～9:30

S48-1

老年医学から考える高齢者薬物療法

東大院医 秋下 雅弘

9:30～9:50

S48-2

高齢者のポリファーマシーに対する薬剤師による介入

神戸大病院薬 木村 丈司

9:50～10:10

S48-3

高齢者のサルコペニアに対する薬学管理と薬局薬剤師の取り組み

ファーマダイワ 佐藤 弘希

10:10 ~ 10:30	S48-4	高齢者の栄養管理	赤穂市民薬剤 室井 延之
10:30 ~ 10:50	S48-5	注目すべき加齢性疾患～サルコペニアと骨代謝異常の成因と治療戦略～	熊本大薬 丸山 徹
10:50 ~ 11:00		総括	神戸大薬剤 平井 みどり

3月29日(火) 9:00 ~ 11:30 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

一般シンポジウム S49

薬学におけるレギュラトリーサイエンス教育の提言

Recommendation of Regulatory Science Education in Pharmaceutical Science

オーガナイザー：新見 伸吾, 白神 誠

9:00 ~ 9:30	S49-1	I オーガナイザー挨拶・総論	日本大薬 白神 誠
9:30 ~ 9:45	S49-2	II-1 レギュラトリーサイエンスの実践 (医薬品開発)	国立衛研 川西 徹
9:45 ~ 10:00	S49-3	II-2 レギュラトリーサイエンスの実践 (医療機器開発)	国立衛研 新見 伸吾
10:00 ~ 10:15	S49-4	II-3 レギュラトリーサイエンスの実践 (PMDA)	PMDA 北條 泰輔
10:15 ~ 10:30	S49-5	III 薬剤師とレギュラトリーサイエンス	大阪薬大 政田 幹夫
10:30 ~ 10:45	S49-6	IV 専門教育を学ぶ上でのレギュラトリーサイエンス	国立衛研 穂山 浩
10:45 ~ 11:10	S49-7	V 薬学部におけるレギュラトリーサイエンス教育の現状	名市大院薬 頭金 正博
11:10 ~ 11:30	S49-8	総合討論	

3月29日(火) 9:00 ~ 11:30 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S50

第11回若手が拓く新しい薬剤学～薬剤学が切り拓く次世代創薬・育薬への新展開～

11th Frontier Pharmaceutics to Be Explored by Young Scientists:

Opening Up New Horizon of Pharmaceutics for Next Generation Innovative Drug Discovery and Development

オーガナイザー：渡邊 博志, 浅井 知浩

9:00 ~ 9:05		オーガナイザー挨拶	熊本大院薬 渡邊 博志
9:05 ~ 9:25	S50-1	ビタミンKの消化管吸収阻害を介した新規薬物相互作用メカニズム	東大病院薬 高田 龍平

9:25 ~ 9:45	S50-2	慢性腎臓病における腎-多臓器連関に関わる尿毒素の関与とその分子機構	熊本大院薬	渡邊 博志
9:45 ~ 10:05	S50-3	薬物動態の概日リズム研究におけるトランスレーショナルリサーチ	九大院薬	小柳 悟
10:05 ~ 10:25	S50-4	標的定量プロテオミクスに基づく肝臓 metabolic zonation の分子的解明	東北大院薬	立川 正憲
10:25 ~ 10:45	S50-5	新規脂質ナノ粒子 /siRNA を用いた効率的な遺伝子サイレンシング	静岡県大薬	浅井 知浩
10:45 ~ 11:05	S50-6	細胞製剤の体内動態の制御と評価	京大薬	樋口 ゆり子
11:05 ~ 11:25	S50-7	セラノスティックスを可能とする超音波応答性ナノバブルによる核酸・遺伝子デリバリー	東京薬大薬	根岸 洋一
11:25 ~ 11:30		総括	静岡県大薬	浅井 知浩

3月29日(火) 9:00 ~ 11:30 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S51

「疾患代謝」から解明される生命現象と創薬研究への応用  
 From Disease-Associated Metabolism to Drug Development:  
 Metabolites and Their Targets Illuminate New Biological Phenomena

オーガナイザー：井上 飛鳥, 小松 徹

9:00 ~ 9:05		オーガナイザー挨拶・趣旨説明	東大院薬	小松 徹
9:05 ~ 9:25	S51-1	活性イオンによる生体レドックス恒常性制御基盤の構築	岡崎生理研統合バイオ	西田 基宏
9:25 ~ 9:45	S51-2	脂質ラジカル蛍光検出プローブ開発とその応用	九大院薬	山田 健一
9:45 ~ 10:05	S51-3	疾患マーカー探索のためのタンパク質アダクトーム解析	名大院生命農	柴田 貴広
10:05 ~ 10:25	S51-4	代謝物が作用する GPCR の同定と機能解析	東北大院薬	井上 飛鳥
10:25 ~ 10:45	S51-5	ペプチド化学を基盤としたケミカルバイオロジー研究のための基盤技術の開拓	徳島大院医歯薬	重永 章
10:45 ~ 11:05	S51-6	酵素活性の理解に基づく新規疾患関連タンパク質探索法の開発	東大院薬	小松 徹
11:05 ~ 11:25	S51-7	質量分析による in vivo 代謝プロファイリング~イメージングからリアルタイム代謝解析まで~	慶應大医	杉浦 悠毅
11:25 ~ 11:30		総括	東北大院薬	井上 飛鳥

---

3月29日(火) 9:00～11:00 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S52

薬物代謝酵素の発現調節と生理機能の解明に向けた新たな取り組み

Recent Understanding on the Function of Drug-Metabolizing Enzymes and Their Regulation

オーガナイザー：藤原 亮一，中島 美紀

---

9:00～9:20

S52-1

Cytochrome P450 3A の生理的機能：  
肝コレステロール合成と前立腺アンドロゲン受容体活性制御における役割

千葉大院薬 橋本 真里

9:20～9:40

S52-2

インスリンシグナルを介した核内受容体 CAR の制御メカニズム

名大院薬 保嶋 智也

9:40～10:00

S52-3

RNA 編集に着目した薬物代謝関連遺伝子の転写後調節機構の解明

金沢大院医薬保 中野 正隆

10:00～10:20

S52-4

CYP24A1 はビタミン D 誘導体の開発における鍵酵素である

富山県立大 榎 利之

10:20～10:40

S52-5

硫酸転移酵素による  $\alpha,\beta$ -不飽和カルボニル化合物の代謝反応に関する研究

宮崎大応生科 黒木 勝久

10:40～11:00

S52-6

UDP-グルクロン酸転移酵素 1A1 の誘導が周産期の神経発達に及ぼす影響

北里大薬 久津野 友貴

---

3月29日(火) 9:00～11:30 J会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 503

一般シンポジウム S53

改訂モデル・コアカリキュラムと薬学実務実習ガイドラインに沿った実務実習に向けて

Pharmacy Practice along with the Revised Version of Model·Core Curriculum and the New Guideline

オーガナイザー：望月 正隆，阿刀田 英子

---

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

東京理大薬 望月 正隆

9:05～9:10

文部科学省挨拶

文部科学省 前島 一実

9:10～9:30

S53-1

薬学教育協議会において取り組むべき事項への対応

薬学教育協議会 須田 晃治

9:30～10:00

S53-2

実務実習事前調査アンケートについて

明治薬大 伊東 明彦

10:00～10:30

S53-3

ワークショップとアドバンスワークショップのこれから

阪大院薬 平田 収正

10:30～11:00

S53-4

大学と実務実習施設との連携における WEB システムの利用

慶應大薬 木津 純子

11:00～11:15

S53-5

現行の実務実習に関連したトラブルとその対策

薬学教育協議会 阿刀田 英子

11:15～11:30

ディスカッションと総括

東京理大薬 望月 正隆

---

---

3月29日(火) 13:15～15:15 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S54

ダウン症遺伝子 21 番染色体から創薬標的を探す

Pathophysiology Derived from Down Syndrome Related Genes on the 21th Chromosome

オーガナイザー：南 敬, 石原 慶一

---

13:15～13:18

オーガナイザー挨拶

熊本大生命資源セ 南 敬

13:18～13:41

S54-1

ダウン症脳における神経幹細胞のニューロン分化異常を引き起こす分子基盤

東大院理 倉林 伸博

13:41～14:04

S54-2

ダウン症患者における早期アルツハイマー病発症メカニズムの解明

長崎大院医歯薬 浅井 将

14:04～14:27

S54-3

創薬標的の同定を目的としたダウン症マウス脳での変動分子の網羅的解析

京都薬大 石原 慶一

14:27～14:50

S54-4

細胞外マトリックス分解酵素 ADAMTS1 の多様性

岡山大医 廣畑 聡

14:50～15:13

S54-5

ダウン症因子 DSCR-1 の血管機能～両刃の剣～

熊本大生命資源セ 南 敬

15:13～15:15

総括

京都薬大 石原 慶一

---

3月29日(火) 13:15～15:15 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S55

医師・看護師・薬剤師の連携による地域医療の質の向上 —忘れがちな障害、爪白癬の共同的治療を通して—

Improve the Quality of Regional Medical through Cooperation of Doctors, Nurses and Pharmacists

～ Tend to Forget Failure, - throughout the Treatment of the Onychomycosis

オーガナイザー：鈴木 順子, 今津 嘉宏

---

13:15～13:40

S55-1

医師・看護師・薬剤師の連携による地域医療の質の向上

—忘れがちな障害、爪白癬の共同的治療を通して—

北里大薬 今津 嘉宏

13:40～14:00

S55-2

在宅患者の爪白癬外用療法の現状

Y'sクリニック 米田 吉位

14:00～14:20

S55-3

訪問看護師と医師の協働による在宅療養者への白癬症ケア—治療の介入とその効果—

ナースステーション東京 内田 恵美子

14:20～14:40

S55-4

在宅患者の爪白癬外用療法における薬局薬剤師の役割

慶應大薬 山浦 克典

14:40～15:05

S55-5

在宅医療のパラダイムの探求—爪白癬治療の取組を通して—

北里大薬 鈴木 順子

15:05～15:15

総合討論

---

3月29日(火) 13:15～15:15 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S56

特定細胞ネットワーク活性制御/検出技術による脳疾患解析の新展開

New Development of Brain Research Based on Innovative Technology of the Control and Detection on Disease Specific-Cell Networks

オーガナイザー：松井 広, 葛巻 直子

---

13:15～13:20

オーガナイザー挨拶

星薬大薬理 葛巻 直子

13:20～13:47

S56-1

全身全細胞解析技術による「個体レベルのシステム生物学」の進展

東大医システムズ薬理学 洲崎 悦生

13:47～14:14

S56-2

グリア細胞による神経信号増幅機能の解明

東北大医 新医学領域創生 松井 広

14:14～14:41

S56-3

視床下部神経細胞による睡眠覚醒調節と記憶の制御

名古屋大環境医学研究所 山中 章弘

14:41～15:08

S56-4

中脳辺縁ドーパミン神経の特定機能制御から導き出す疼痛制御機構の新たな理解

星薬大薬理 葛巻 直子

15:08～15:15

総括

東北大医 新医学領域創生 松井 広

---

3月29日(火) 13:15～15:15 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S57

天然物ケミカルバイオロジー (4)：天然物合成とケミカルバイオロジー

Chemical Biology of Natural Products (4): Natural Products Synthesis and Chemical Biology

オーガナイザー：石橋 正己, 難波 康祐

---

13:15～13:45

S57-1

Palau'amine の全合成

徳島大院医歯薬 難波 康祐

13:45～14:15

S57-2

環状デプシペプチド天然物の全合成と生物活性評価

東北大院薬 土井 隆行

14:15～14:45

S57-3

ラジカル反応を基盤としたチグリアン・ダフナンジテルペン類の合成戦略

東大院薬 占部 大介

14:45～15:15

S57-4

プローブ化を志向したカイノイドの合成研究

静岡県大薬 菅 敏幸

---

3月29日(火) 13:15～15:15 G会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 315

一般シンポジウム S58

若手が拓く微生物薬学：多剤耐性菌と闘う

Frontier of Pharmaceutical Microbiology: To Combat Multidrug-Resistant Bacterial Pathogens

オーガナイザー：森田 雄二, 西野 邦彦

---

13:15～13:45

S58-1 進化実験を用いた薬剤耐性メカニズムの解析

理研 QBiC 古澤 力

13:45～14:15

S58-2 耐性菌感染症の克服に向けた薬剤排出ポンプの構造解析と新規治療薬開発

阪大産研 / 阪大院薬 山崎 聖司

14:15～14:45

S58-3 新規抗菌薬のシーズ発掘と標的探索

岡山大院医歯薬 黒田 照夫

14:45～15:15

S58-4 カイコ細菌感染モデルによって得られた新規抗生物質ライソシン E の発見と開発

東大院薬 浜本 洋

---

3月29日(火) 13:15～15:15 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S59

「薬学教育学」のスタートアップ—何をどのように見て、何を明らかにするのか

Startup of Pedagogy in Pharmaceutical Education—What to See, How to Consider and What Is Revealed

オーガナイザー：有田 悦子, 石川 さと子

---

13:15～13:25

オーガナイザー挨拶

北里大薬 有田 悦子

13:25～13:45

S59-1 「薬学教育学」が目指すもの

昭和大薬 中村 明弘

13:45～14:00

S59-2 ヒューマニティ教育の現状と課題

慶應大薬 石川 さと子

14:00～14:15

S59-3 基礎薬学教育の現状と課題

摂南大薬 安原 智久

14:15～14:30

S59-4 医療薬学・臨床薬学教育の現状と課題

千葉大病院薬 / 千葉大院薬 石井 伊都子

14:30～14:50

S59-5 薬学教育の未来—医学教育の経験から—

北里大医 守屋 利佳

14:50～15:15

総合討論

---

3月29日(火) 13:15～15:15 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S60

イメージング技術が切り拓く遺伝子・核酸デリバリーの最前線

Recent Advances in Gene and Nucleic Acids Delivery Based on Imaging Technology

オーガナイザー：川上茂, 秋田英万

---

13:15～13:20

オーガナイザー挨拶

長崎大院医歯薬 川上茂

13:20～13:40

S60-1

外部刺激制御に基づく遺伝子・核酸デリバリーシステムの開発

長崎大院医歯薬 川上茂

13:40～14:00

S60-2

核酸創薬におけるポジトロンエミッショントモグラフィーの活用

理研 CLST 向井英史

14:00～14:20

S60-3

生体イメージングによるドラッグデリバリーシステムの追跡

東大院医 松本有

14:20～14:40

S60-4

体内・細胞内動態の情報に基づくベクター開発と蛍光技術を用いたナノ粒子物性評価

北大院薬 秋田英万

14:40～15:00

S60-5

組織透明化を基盤とした遺伝子医薬の体内挙動の可視化

長崎大院医歯薬 麓伸太郎

15:00～15:15

総括

北大院薬 秋田英万

---

3月29日(火) 15:30～17:30 B会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

一般シンポジウム S61

和漢薬の科学基盤：新たな創薬方法論と疾病治療戦略の創生を目指して

Formation of Science-Based Natural Medicine to Establish New Scientific Methods for Drug Discovery and to Develop New Therapeutic Strategies

オーガナイザー：小松かつ子, 稲垣直樹

---

15:30～15:34

オーガナイザー挨拶

富山大和漢研 小松かつ子

15:34～15:56

S61-1

数理科学と和漢薬研究からの挑戦：「未病」状態の検出から新たな治療戦略の構築へ

東大生産研 奥牧人

15:56～16:18

S61-2

キノンアルカロイドの基本骨格構築に関わる生合成酵素の機能解析

東大院薬 森貴裕

16:18～16:40

S61-3

和漢薬による神経変性疾患の改善作用の解析—病気を治す分子を見出すアプローチ—

富山大和漢研 東田千尋

16:40～17:02

S61-4

抗がん剤 5-フルオロウラシル誘起腸炎に対する柴苓湯の効果

京都薬大 加藤伸一

17:02～17:24

S61-5

子宮頸がん前がん病変に対する乳酸菌を利用した経口がんワクチンの有効性と漢方アジュバント併用の可能性

東大院医産婦人科学 川名敬

17:24 ~ 17:30

総括

岐阜薬大 稲垣 直樹

---

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

一般シンポジウム S62

緩和医療/疼痛治療における現状とリバーストランスレーショナルリサーチの最前線

Current Status of Palliative Care/Pain Treatment and Forefront of Reverse Translational Research

オーガナイザー：徳山 尚吾, 成田 年

---

15:30 ~ 15:35

オーガナイザー挨拶

神戸学院大薬 徳山 尚吾

15:35 ~ 15:52

S62-1

日本緩和医療薬学会の最近の活動と薬学緩和教育の現状

明治薬大 加賀谷 肇

15:52 ~ 16:09

S62-2

大学病院での緩和医療における治療薬の使用推移と薬剤師からの提案

日本医大病院薬 片山 志郎

16:09 ~ 16:26

S62-3

緩和医療薬学研究の進展を目指したリバース・トランスレーショナルリサーチ

京大病院薬 中川 貴之

16:26 ~ 16:43

S62-4

除痛によるがん治療への影響を最先端科学により分析する：  
求められる包括的緩和医療の統合的分子理解

星薬大 成田 年

16:43 ~ 17:00

S62-5

薬剤師主導の臨床研究

市立芦屋病院薬 岡本 禎晃

17:00 ~ 17:25

総合討論

17:25 ~ 17:30

総括

星薬大 成田 年

---

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 D会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 303

一般シンポジウム S63

ナノ材料の社会受容に向けた安全性評価の最新動向

The Latest Developments in Safety Assessment for the Social Acceptance of Nanomaterials

オーガナイザー：堤 康央, 広瀬 明彦

---

15:30 ~ 15:35

趣旨説明

国立衛研 広瀬 明彦

15:35 ~ 15:57

S63-1

ナノ材料のリスク管理に向けた最近の動向

日本化学工業協会 庄野 文章

15:57 ~ 16:19

S63-2

化粧品領域におけるナノ材料

日本化粧品工業連合会 増永 卓司

16:19 ~ 16:41

S63-3

ナノ材料安全性評価の国際動向と日本の対応

国立衛研 広瀬 明彦

16:41 ~ 17:03	S63-4	ナノ材料の管理とナノテクノロジーの社会受容の課題への取り組み	日本ゼオン 阿多 誠文
17:03 ~ 17:25	S63-5	ナノ安全科学研究とナノ最適デザイン研究の融合による sustainable nanotechnology の推進	阪大院薬 東阪 和馬
17:25 ~ 17:30		総括	阪大院薬 堤 康央

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 E会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 304

一般シンポジウム S64

自動車運転に影響を及ぼす薬剤処方に対する薬剤師の役割

Pharmacists' Roles Regarding the Prescription of Drugs that Influence Driving

オーガナイザー：木津 純子, 百瀬 泰行

15:30 ~ 15:35		オーガナイザー挨拶	国際医福大薬 百瀬 泰行
15:35 ~ 15:55	S64-1	処方薬と自動車運転 ー適切な処方と療養指導ー	滋賀医大医 一杉 正仁
15:55 ~ 16:15	S64-2	抗ヒスタミン薬服用患者の実態と運転への影響	慶應大薬 木津 純子
16:15 ~ 16:35	S64-3	自動車運転に影響を及ぼす薬剤の処方に対する薬局薬剤師の対応	日本薬剤師会 永田 泰造
16:35 ~ 16:55	S64-4	薬局で行う糖尿病患者への自動車運転に関する注意喚起	薬局恵比寿ファーマシー 佐竹 正子
16:55 ~ 17:15	S64-5	「自動車運転等の禁止等」の記載がある医薬品に対する患者への説明体制の構築	愛媛大病院薬 田中 守
17:15 ~ 17:30		総合討論	慶應大薬 木津 純子

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 H会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501

一般シンポジウム S65

薬学教育研究における質的データの活用とその意義

Utilization of Qualitative Data on Pharmacy Education Study

オーガナイザー：野呂瀬 崇彦, 安原 智久

15:30 ~ 15:35		オーガナイザー挨拶	北海道薬大 野呂瀬 崇彦
15:35 ~ 16:15	S65-1	質的研究とは何か	名古屋大院教 大谷 尚
16:15 ~ 16:35	S65-2	ジグソー学習法でグループ学習の意義を実感してから PBL に取り組む効果	北海道薬大 武田 香陽子

16:35 ~ 16:55	S65-3	薬学コミュニケーション教育における RIAS を用いたコミュニケーション研究	北里大薬	有田 悦子
16:55 ~ 17:15	S65-4	多職種連携教育の実践とその効果 : SCAT を用いた分析	名古屋大病院看	阿部 恵子
17:15 ~ 17:30		全体討論	摂南大薬	安原 智久

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 I会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 502

一般シンポジウム S66

ヒトや野生生物における医薬品、環境化学物質の安全性評価の精度向上にむけて  
～代謝的活性化、種差、エピジェネティクスの観点から～

Further Improvement of Risk Assessment of Pharmaceuticals and Chemicals in Humans and Animals  
—From the View Point of Metabolisc Activation, Species Difference, and Epigenetic Regulation—

オーガナイザー : 木村 朋紀, 佐能 正剛

15:30 ~ 15:35		オーガナイザー挨拶	摂南大理工	木村 朋紀
15:35 ~ 15:57	S66-1	肝毒性を示す医薬品の代謝活性化機構の解析とそれに基づいた創薬戦略	慶應大薬	大江 知之
15:57 ~ 16:19	S66-2	医薬品、一般化学物質の体内動態を考慮に入れたヒトおよび野生生物におけるリスク評価	広島大院医歯薬保	佐能 正剛
16:19 ~ 16:41	S66-3	非実験動物における化学物質代謝能の特徴と種差	北大院獣医	池中 良徳
16:41 ~ 17:03	S66-4	エピジェネティック毒性研究の現状と今後の展開	星薬大先端生命研	五十嵐 勝秀
17:03 ~ 17:25	S66-5	金属曝露がもたらすエピジェネティックな変化とその分子機構	摂南大理工	木村 朋紀
17:25 ~ 17:30		総括	広島大院医歯薬保	佐能 正剛

3月29日(火) 15:30 ~ 17:30 J会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 503

一般シンポジウム S67

糖尿病合併症の進展防止における薬学的介入の実例と可能性—糖尿病腎症における血糖管理—

Cases and Possibility of Pharmaceutical Care for the Prevention of Diabetes Complications, Glycemic Control in Diabetic Neuropathy

オーガナイザー : 厚田 幸一郎, 平田 純生

15:30 ~ 15:35		オーガナイザー挨拶	北里大薬	厚田 幸一郎
15:35 ~ 16:05	S67-1	糖尿病性腎症の包括的診療の重要性	熊本大薬附属育薬フロンティアセンター	平田 純生
			北里大健康管理センター	守屋 達美

16:05 ~ 16:25	S67-2	糖尿病性腎症における薬物体内動態の注意点	東京薬大薬	竹内 裕紀
16:25 ~ 16:45	S67-3	腎機能低下時の糖尿病治療薬の適正使用	熊本大薬附属育薬フロンティアセンター	平田 純生
16:45 ~ 17:05	S67-4	糖尿病性腎症入院患者に対する薬学的介入	東京都済生会中央病院薬	堀井 剛史
17:05 ~ 17:25	S67-5	糖尿病性腎症外来患者に対する薬学的介入	北里大薬	井上 岳
17:25 ~ 17:30		総括	北里大薬	厚田 幸一郎

3月27日(日) 9:00 ~ 11:00 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

大学院生シンポジウム GS01

次世代型創薬の可能性を探る —既承認薬・開発中止品の応用を指向した研究—  
 Seeking the Prospects for Next-Generation Drug Discovery  
 —Toward New Uses of Existing Drugs for New Indications—

オーガナイザー：鈴木 俊章, 沢崎 綾一

9:00 ~ 9:06		オーガナイザー挨拶	慶應大院薬	沢崎 綾一
9:06 ~ 9:18	GS01-1	既承認薬ライブラリーを用いた新規ドライアイ治療薬の探索	慶應大院薬	沢崎 綾一
9:18 ~ 9:30	GS01-2	フルオロキノロン系抗菌薬による網膜細胞保護作用	岐阜薬大院	久世 祥己
9:30 ~ 9:42	GS01-3	メラノーマ治療薬として開発された MEK 阻害剤の大腸がん治療薬としての可能性	慶應大院理工	四方 雄貴
9:42 ~ 9:54	GS01-4	既存医薬品を用いたトリプルネガティブ乳がんの新規治療戦略	武庫川女大薬	松井 千紘
9:54 ~ 10:06	GS01-5	ゾレドロン酸とフルバスタチンの併用によるヒト膵臓がん細胞増殖抑制の増強効果	九大院薬	岡 雄平
10:06 ~ 10:18	GS01-6	Bile salt export pump (BSEP)/ABCB11 の遺伝子変異に起因する難治性小児肝内胆汁うっ滞症に対する治療薬の開発	東大院薬	廣瀬 友
10:18 ~ 10:30	GS01-7	消化管 GVHD 治療薬としての経口ベクロメタゾン製剤	岐阜薬大	三谷 健人
10:30 ~ 10:42	GS01-8	Potential restoration of memory impairment in dementia by the Kampo formulation, nobiletin-rich chinpi-containing yokukansankachinpihange	東北大院薬	Evelyn GUTIERREZ RICO
10:42 ~ 10:54	GS01-9	Oxaliplatin による末梢神経障害性疼痛に対する人参養栄湯の有効性の検討	名市大院薬 / 名大院創薬	鈴木 俊章

10:54 ~ 11:00

総括

名大院創薬 / 名市大院薬 鈴木 俊章

3月27日(日) 9:00 ~ 11:00 K会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314

大学院生シンポジウム GS02

すべての道は患者に通ず ~ QOL を高く維持する医療を目指して~

All Roads Lead to Patients—Advancing Medical Treatment that Maintain High Quality of Life—

オーガナイザー : 岡本 彩香, 宮本 寛子

9:00 ~ 9:03

オーガナイザー挨拶

静岡県大院薬 岡本 彩香

9:03 ~ 9:22

GS02-1

Abl 及び Src kinases による血液脳関門 P-glycoprotein の細胞内トラフィッキング制御機構の解明

東北大院薬 星 裕太郎

9:22 ~ 9:41

GS02-2

SBDD に基づいた多剤排出トランスポーター阻害剤の開発

阪大産科研 井上 雄太

9:41 ~ 10:00

GS02-3

血流中で機能する酵素封入ポリイオンコンプレックス型ベシクルの開発

東大院工 末吉 大輝

10:00 ~ 10:19

GS02-4

血清アルブミンによって血中滞留性が向上する新規遺伝子キャリアの開発

九大院工 中村 雄太

10:19 ~ 10:38

GS02-5

PEG 化葉酸修飾 dendrimer / $\alpha$ -シクロデキストリン結合体 (G4) によるがん細胞選択的核酸医薬全身デリバリーを利用したがん治療戦略

熊本大院薬 大山 歩務

10:38 ~ 10:57

GS02-6

バイオインフォマティクスを応用した実験データの活用と創薬の効率化

名大院創薬科学 河合 駿

10:57 ~ 11:00

総括

北九州市大院工 宮本 寛子

3月28日(月) 9:00 ~ 11:00 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

大学院生シンポジウム GS03

次世代若手研究者の挑戦! ~ 難治性疾患に対する新たな創薬ストラテジー~

The Challenge of Next-Generation Young Pharmacologists

~ The Strategy of Drug Discovery and Evolution for Intractable Disease ~

オーガナイザー : 福重 亮, 尾崎 友香

9:00 ~ 9:05

オーガナイザー挨拶

広島大院医歯薬保 福重 亮

9:05 ~ 9:30

GS03-1

セロトニン /5-HT3 受容体を標的とした消化管炎症制御への応用

京都薬大 内海 大知

9:30 ~ 9:55

GS03-2

Cyclophosphamide 誘起膀胱炎・膀胱痛マウスにおける硫化水素 /T 型 Ca<sup>2+</sup> チャネル系の役割  
—下部尿路機能障害に対する新たな治療標的分子としての可能性—

近畿大薬 尾崎 友香

9:55 ~ 10:00	休憩	
10:00 ~ 10:25	GS03-3 新規緑内障治療薬としてのアペリンの可能性	摂南大薬 住野 彰英
10:25 ~ 10:50	GS03-4 脳線条体への substance P 持続投与により誘発される疼痛制御機構の解明	広島大院医歯薬保 福重 亮
10:50 ~ 11:00	総括	近畿大薬 尾崎 友香

3月28日(月) 15:30 ~ 17:30 F会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312

大学院生シンポジウム GS04

復興する天然物化学—新研究が明かす次世代天然物創薬の可能性—

Natural Product Revival: New Trends of Natural Products in Drug Discovery

オーガナイザー：張 驪驛, 杉山 龍介

15:30 ~ 15:31	オーガナイザー挨拶	京大院薬 杉山 龍介
15:31 ~ 15:47	GS04-1 糸状菌ポリケタイドの非酵素的二量化反応の発見と多様な分子創出への応用	東北大院薬 塚田 健人
15:48 ~ 16:04	GS04-2 アゾリン含有ペプチドの in vitro 合成法の確立とその応用	東大院理 加藤 保治
16:05 ~ 16:21	GS04-3 植物トリテルペノイドサポニンの生合成酵素遺伝子とその制御機構	阪大院工 田村 啓太
16:22 ~ 16:38	GS04-4 エゾムラサキツツジが生産する抗 HIV 天然物ダウリクロメン酸の生合成研究	富山大院薬 飯島 未宇
16:39 ~ 16:55	GS04-5 ホルモン療法抵抗性前立腺がんに対する天然物創薬研究	慶應大理工 齋藤 駿
16:56 ~ 17:12	GS04-6 アンフォテリシン B のチャネル形成機構解明を目指した構造活性相関研究	阪大院理 山本 智也
17:13 ~ 17:29	GS04-7 脂質結合性天然物の活用—放線菌複合培養液より見出した新規アルカロイド群に関する研究	京大院薬 杉山 龍介
17:29 ~ 17:30	総括	東大院薬 張 驪驛

大学院生シンポジウム GS05

患者のQOL改善を目指した薬学基礎研究

Basic Research in Pharmacy for Improvement of Patient's Quality of Life

オーガナイザー：篠田 康晴, 西澤 由紀彦

15:30～15:35

オーガナイザー挨拶

東北大院薬 篠田 康晴

15:35～15:53

GS05-1

乳癌におけるトラスツズマブ耐性化の要因解析とその克服に向けた新規アプローチ

岡山大院医歯薬 武田 達明

15:53～16:11

GS05-2

疼痛時における脳内の脂肪酸コントロールに対するアストロサイトの関与

神戸学院大薬 相澤 風花

16:11～16:29

GS05-3

水毒鑑別のための体成分における客観的予測因子と自覚症状の関連について

九大院薬 村上 綾

16:29～16:47

GS05-4

筋萎縮性側索硬化症に関連するシグマ1受容体変異体の神経細胞毒性の検討

東北大院薬 篠田 康晴

16:47～17:05

GS05-5

脳虚血に伴うTIGARの発現には活性酸素種とグルコース代謝関連ホルモンが関与する

蘇州大薬学院 孫 美玲

17:05～17:23

GS05-6

遺伝性腎炎アルポート症候群の早期病態および原因タンパク質標的による創薬に向けた基礎研究

熊本大院薬 大町 紘平

17:25～17:30

総括

鹿児島大医歯学総合 西澤 由紀彦